

平成19年9月28日公表

## 平成19年産水稻の作付面積及び作柄概況（大分県）

（平成19年9月15日現在）

- 作況指数は100、作付面積は300haの減少 -

9月15日現在における作柄概況調査は、水稻の生育段階に応じて、計測可能な収量構成要素の実測値（穂数やもみ数等）を基に、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測したものです。  
このため、今後の気象条件及び病虫害被害の発生（進行）状況により作柄は変動することがあります。

### 【調査結果の概要】

1 大分県における平成19年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は2万6,100haで前年産に比べ300ha(1%)減少しました。

2 9月15日現在における作柄は、もみ数はやや少ないものの、登熟（実入り）は平年並みないし、やや良くなるが見込まれるため、10a当たり収量は503kgの作況指数100が見込まれます。

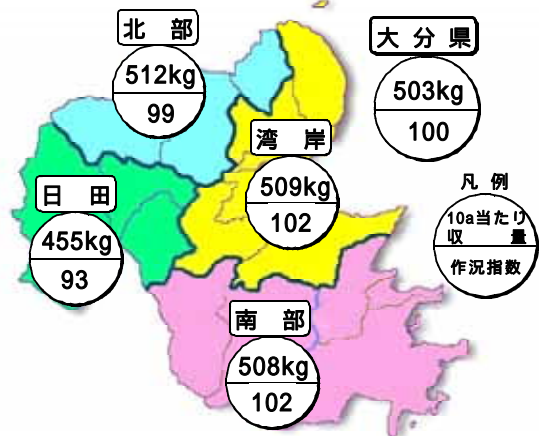
地帯別には、もみ数が少ない日田では作況指数93、やや少ない北部では99、登熟が平年並みないし、やや良くなるが見込まれる湾岸と、もみ数がやや多い南部では共に102となっています。

3 生育は、6月から7月22日にかけて日照時間が減少したことから、分けつに影響を受けた地帯も見られたものの、7月23日以降は気温・日照時間ともに増加したため、ほぼ平年並みに回復しました。

1穂当たりもみ数は、好天によりやや多くなったものの、疎植植えにより株数が少なくなったため、穂数もやや少なく、1㎡当たり全もみ数は平年に比べやや少なくなりました。

出穂最盛期は平年に比べ2日早く、前年産並みの8月22日となっており、紋枯病、いもち病等の発生がやや多いため、被害は平年に比べやや多く、出穂期以降、高夜温の日もあるため乳白粒等の発生が懸念されます。

水稻の作柄表示地帯別  
10a当たり収量及び作況指数



区分	作柄表示地帯に包括される市町村
北部	中津市、豊後高田市、宇佐市
湾岸	大分市、別府市、杵築市、姫島村、国東市、日出町、由布市
南部	佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市
日田	日田市、九重町、玖珠町

この資料は大分農政事務所ホームページ

【[http://www.oita.info.maff.go.jp/nousui\\_toukei/toukeisokuho/sokuho.htm](http://www.oita.info.maff.go.jp/nousui_toukei/toukeisokuho/sokuho.htm)】でご覧になれます。  
この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】4Pに掲載しています。  
今回は、予想収穫量調査として10月下旬に発表予定です。

【統計表】

1 水稻の作付面積及び作柄概況（9月15日現在）

作柄表示地帯	作付面積 (青刈り含む)	10a当たり (予想)収量	作況指数	10a当たり 平年収量
	ha	kg		kg
大分県	26 100	503	100	503
北部	7 810	512	99	517
湾岸	7 720	509	102	500
南部	7 550	508	102	498
日田	3 030	455	93	490

青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料などとして用いられるものです。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含みます。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

統計表は、ラウンドにより一致しない場合があります。

2 生育状況

作柄表示地帯	出穂期					穂数の多少	1穂もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較						
				対平年	対前年					
月日	月日	月日	日	日	(平年比較)					
大分県	7.30	8.22	8.30	2日早	2日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	5
北部	7.25	8.24	8.28	2日早	2日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	6
湾岸	7.30	8.24	8.31	3日早	3日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	5
南部	8. 2	8.19	8.31	2日早	1日早	やや少ない	多	いやや多い	平年並み	5
日田	8. 3	8.17	8.23	2日遅	2日遅	少	多	い少	良	6

出穂期の「始期」は出穂済みの面積割合が5%、「最盛期」は同50%、「終期」は同95%に達した期日です。

「穂数の多少」は、1㎡あたりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「全もみ数の多少」とは、1㎡あたりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

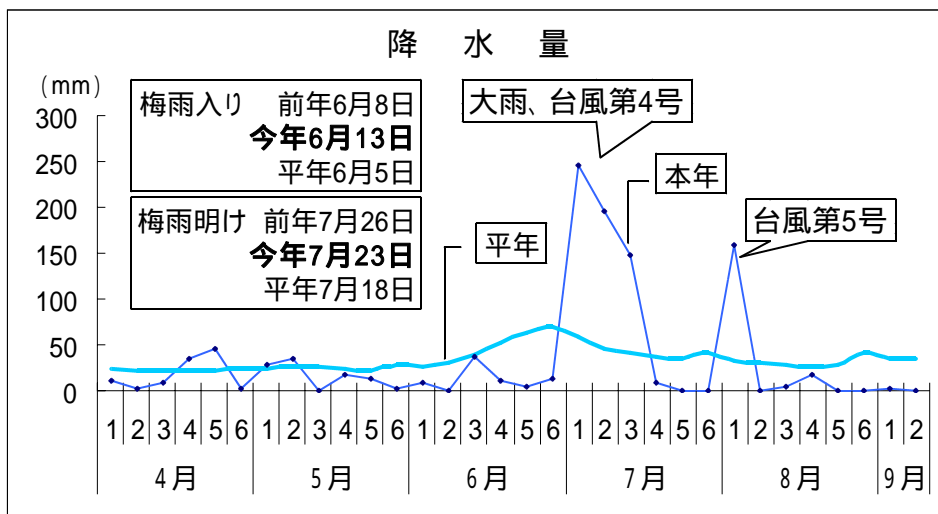
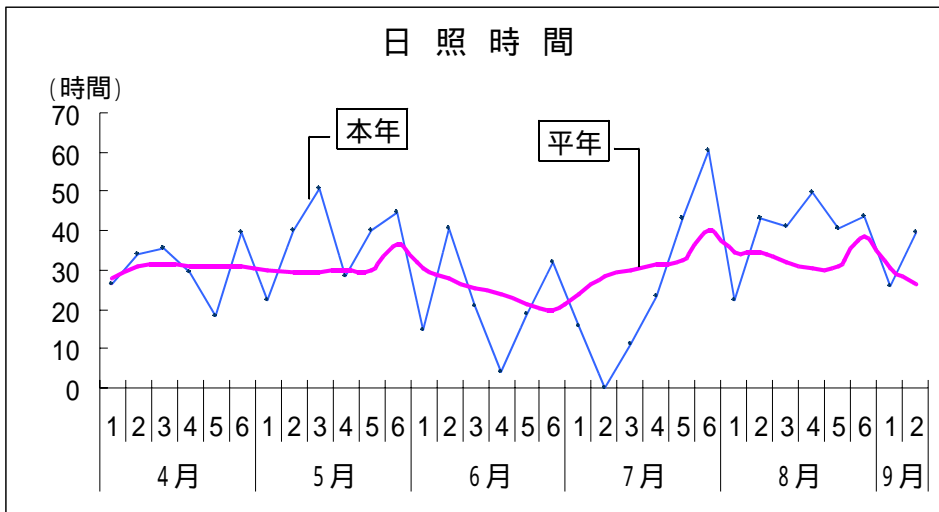
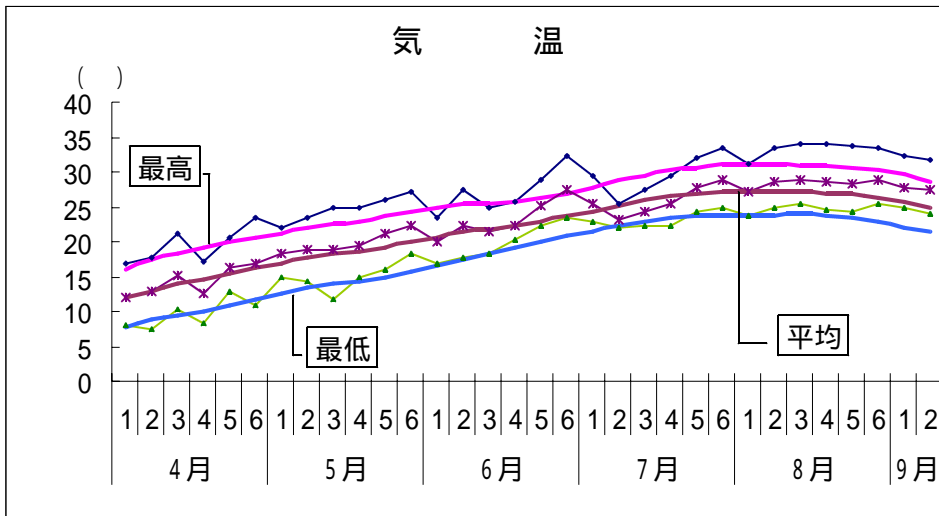
「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

【関連するデータ】

平成19年気象グラフ平年比較（大分市）



資料：大分地方気象台「アメダスデータ」

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査のうち作付面積調査及び水稻調査に関する作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積及び生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

### 2 調査の対象

大分県

### 3 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

### 4 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対するセンター職員及び統計調査員による実測調査並びにセンター職員による巡回・見積りにより行いました。

#### (2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対するセンター職員による実測調査及び巡回・見積りにより行いました。

### 5 調査客体数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：840単位区 巡回・見積もり：18市町村

#### (2) 作柄概況調査

作況標本筆：185筆 作況基準筆：18筆 巡回・見積もり：18市町村

## 【利用上の注意】

作柄概況調査（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行っています。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

### 【関連リンク】

大分農政事務所ホームページ>農林水産統計

[http://www.oita.info.maff.go.jp/nousuitoukei/tokei\\_index.htm](http://www.oita.info.maff.go.jp/nousuitoukei/tokei_index.htm)

九州農政局ホームページ>農林水産情報>農林水産統計

[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.html](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html)

農林水産省ホームページ>農林水産施策について（統計）

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

米に関する累年データは農林水産省ホームページ>農林水産施策について（統計）>農林水産統計情報総合データベース からご利用いただけます。

<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei>



### 問い合わせ先

#### 本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部

生産流通消費統計課 生産統計係

TEL 097-532-6178 FAX 097-538-1820

#### 農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部

統計企画課 企画・分析係

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820